



町長日誌

No.229

町長日誌の第229号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月20日 (日曜日) PMO : 30

15日(火)から東京出張が続き昨夜帰ってきました。毎年の事ではありますが11月は全国町村長大会をはじめとする様々な全国大会が開催され来年度予算や事業の要望を全国組織レベルで行います。これらの様々な要請を受けた省庁は予算の復活など私たちの要望を国民の声として財務省や国会議員などに働きかけ12月末には令和5年度予算の大枠が決まります。16日には興部町が事務局をしている「北海道酪農振興町村長会議」が農水省や国会議員への要望活動をしてきました。生乳の消費減退、購入資材の高騰、牛の販売価格の下落など酪農家を取り巻く状況は過去最大級の厳しさです。この点を踏まえ来年度も引き続き経営支援対策を行うよう要望してきました。なお、この要望には全道から31自治体の町村長が参加されました。12月には来年度の生産者補給金などが決まります。少しでも酪農家の将来展望が開かれる力強い国の対策を願うばかりです。

10月30日 (日曜日)

武部事務所から小泉新次郎前環境大臣が北見市に来られるので興部町のバイオ事業について説明をしてほしいと依頼を受け、北見市に出向いて説明をさせて頂きました。時間は20分と短かったのですが興部町が進めている家畜糞尿を使ったバイオガス事業、家庭から出る生ごみを全量バイオガスプラントで肥料化していること。家庭にディスポーザ普及拡大を図り下水道汚泥は全量バイオガスプラントでたい肥化していること。さらには、現在大阪大学と進めているメタノールやギ酸製造実験などについてお話をさせて頂きました。小泉代議士は特にゴミ処理に関心が強くて「ディスポーザの普及は素晴らしい！」と言っていました。



11月14日 (月曜日)

出光興産とグループ企業の方々6名が来町されました。地球温暖化ガスと言えば「二酸化炭素(CO₂)」と言われるかもしれませんが実は牛から出るゲップ(メタンガス)も温暖化を引き起こす原因とされていてCO₂の十数倍の影響があると言われています。この事を改善しなければ酪農の未来はないと以前から農協と町の関係職員で検討していました。そこに、カシューナッツの殻から抽出した成分が牛のゲップのメタンガスを減らす効果が高いとしてサプリメント飼料を出光興産とそのグループ会社で製造しているとの情報を得たことから、今日、会社の担当者がお見えになり直接お話を伺いました。今後は沙留西町にある研修牧場「ファームTOMO」において北里大学との共同研究によりこの飼料を実際に乳牛に与え、嗜好性やゲップ中のメタンガス量、さらには血液検査などの実証実験を進めることになりました。現在、北海道には82万頭余りの乳用牛がいて約410万tの生乳を生産しています。しかし、この牛たちの反芻(かみ返し)から出るメタンガスは笑い事では済まされない温暖化ガスでもあります。この実験が成功した時には酪農の町として全ての農家が導入できるよう考えているところです。

朝夕本当に冷え込む様になりましたが今年も雪は遅いようですね。今日は沙留保育所のお遊戯会を予定していたのですが、コロナに感染した子供が複数出たことから現在休園してお遊戯会は延期しました。興部保育所でも発症者がいます。北海道は全国に先行して第8波に入ったようです。どうか子供達にはうがいと手洗い、そして寝不足にさせないようにしてください。体力が落ちた時にウイルスは侵入しやすくなるようです。これは大人も同じですね。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

